

つくる会 FAX 通信

第 256 号 平成 21 年(2009 年) 6 月 23 日(火) 送信枚数 2 枚

TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048 <http://www.tsukurukai.com>

韓国李明博大統領に 4 項目の質問書を送付 「友好親善に反する内政干渉は止めるべき」

「新しい歴史教科書をつくる会」は、6 月 22 日、別紙の通り、韓国李明博大統領及び韓国大使館権哲賢大使に対し、別紙の通り質問書を送付しました。

質問書では、6 月 30 日までに文書で回答するよう求めており、回答があった場合は、改めてご報告します。

平成 21 年 6 月 22 日

大韓民国大統領
李明博 閣下
大韓民国大使館特命全権大使
権哲賢 閣下

新しい歴史教科書をつくる会
会長 藤岡信勝

謹啓 閣下におかれましては日韓友好親善促進のためにご活躍のことと拝察し、敬意を表するものであります。

私たち「新しい歴史教科書をつくる会」は、わが国の歴史教育を改善するために、平成 9 年創立以来、鋭意努力を行ってきた民間団体であり、その運動の趣旨は、同封の「設立趣意書」の通りであります。

私たちはその趣意書に基づき中学校の歴史教科書を作成し、新たに自由社から発行することとして、昨年 4 月に文部科学省に検定申請し、本年 4 月 9 日に合格いたしました。

この合格発表に際して、貴国は別紙の「日本の中学校歴史教科書検定結果に対するスポークスマン声明」を発表するとともに、わが国の外務省に対して申し入れを行いました。

本年の中学校歴史教科書の検定結果発表は、自由社 1 社のみでありましたから、貴国の「声明」は、明らかに当会の教科書に対するものであります。

本件は、去る 6 月 10 日に開催されたわが国の衆議院文部科学委員会において自由民主党の馳浩議員によって取り上げられましたが、その後、当会においても

貴国の「声明」を慎重に検討した結果、全く納得のできない内容であるとともに、両国の間にあってはならない内政干渉に当たるものとの結論に達しました。

つきましては、つぎの通りご質問申し上げますので、6月30日までに、文書でご回答いただきますようお願いいたします。

1．本年の検定結果発表は4月9日でしたが、貴国の「声明」も同日に発表されました。検定の内容については非公表で行われており、検定に合格した教科書の内容も文部科学省以外知り得ないこととなっています。にもかかわらず、貴国が同「声明」を発表されたのは、事前に内容を知っていたか、若しくは、内容を知らないまま「声明」を発表したとしか考えられません。そのどちらなのか、またどのような経過で発表されたのか事実関係を教えてください。

2．貴国の「声明」の中で、「依然として過去の過ちを合理化し美化する誤った歴史認識に基づいた歴史教科書」との記述がありますが、自由社の『新編 新しい歴史教科書』のどの部分の記述がそれに該当するのか、具体的にご教示ください。

3．また、同「声明」では、「歪曲された一部の歴史教科書」との記述がありますが、これに関してもどの部分の記述が該当するのか具体的にご教示ください。

4．私たちは、両国が互いに内政干渉することなく、日韓の友好親善が前進していくことを祈念しておりますが、貴国がこのような内政干渉を続けることは、それに反する行為であると考えます。今後、両国の友好親善に反するこのような内政干渉は止めるべきだと思っておりますが、この点に関する貴国のお考えをお聞かせください。

敬具

6月26日発売の『Will 8月号』に渡部昇一氏と藤岡信勝会長の対談が掲載されます。